

昨今、国内で特に伸びている自転車ツーリズムの1つがサイクルツーリズムだ。数々の観光スポットを有することで知られる九州の宮崎県。そのほぼ中心部にある西都市の「サイクランドおくぐち」も、そんな流れを鑑みてビジネススタイルを変化させてきた。新型コロナウイルスが収束しシーズン真っ盛りの中、店主の奥口一人さんはいつになく多忙な日々を過ごしている。

オープンから71年という長い歴史を誇る同店は従来、ブリヂストンのコンセプトストアとして通学車をメインに販売する個人販売店だった。そこからスポーツバイクにも徐々に力を入れ始めたのが、奥口さんが店主に就任した36年前のこと。現在約35坪の店内に展示されている完成車の半数程度がアンカー、ジャイアント等のクロスバイクで、レンタサイクル用にEバイクも10台程ラインナップされている。同店周辺は美しい田園風景が広がり、有名観光スポットである西都原古墳群にも近く、県庁所在地の宮崎市までサイクリングロードが繋がっているという、サイクルツーリズムには最適な環境。西都原古墳群は高台に位置しており、Eバイクが使えることも観光客にとっては有り難いサービスだといえる。レンタサイクルビジネスは店舗の他、地域の複数のリゾートホテルでも展開しており、さらに旅行会社が主催するツアーや地域主催のサイクルイベントの



レンタサイクル用のEバイクもラインナップ

サポート等でも、同店は頼られる存在。昨年、奥口さんがSBAA PLUSの講習を受講し認定を受けたのは、自転車販売・修理する上での知識や技術向上だけが目的ではなく、この地域にとって大きな産業の1つである観光において重要なポジションを担うようになったことも理由の1つであるという。

**認定後はビジネスマインドも前向きに変化**

「より深い知識や技術を習得したいという思いがあったのは勿論、業界内で自転車に関わる様々な人たち、地域の販売店の人たちと交流したかった。またサイクルツーリズムで連携している自治体や地域リゾート企

業、旅行会社の人たちに信頼感、安心感を与えたいとも思った」。奥口さんは、SBAA PLUSは社会的な信頼度の高さを示すもの、いわゆる「お墨付き」だとも認識しているのである。

認定を受けてまだ間もない奥口さんが「オフロードバイクディーラーサミットに興味があって昨年の大阪開催にエントリーしていたところ、急遽都合が悪くなり参加できず残念だった。次回はぜひ参加したい。ブラッシュアップ講習もライドポジションの重要性やフレームの構造等、かなり深掘した内容が多いようでとても興味深い」と、今後の活動も非常に楽しみにしている様子だった。そして最後に「認定を受けて最もメリットだと感じたことは？」という問いに対し返ってきた答

えが「自転車業界は今、かなり混乱している。そんな中、来年還暦を迎える年齢になった自分に、ビジネスへのやる気を再び奮い起こしてくれた。サイクルツーリズムの他にも、まだまだいろんな事に挑戦したいと思うようになった」。マンネリ化しがちなビジネスに新たに刺激を与え、経営者のマインドを前へと向かわせる効果もSBAA PLUSは持ち合わせているのだ。そんな奥口さんが最も望んでいるのが「いろんな地域の自転車業界の人たちと交流したい」。各地域が抱える課題やビジネスの成功例等について直接ディスカッションできれば、確かに自分のためにも、業界全体の活性化にも繋がるに違いない。SBAA PLUSのネットワークがあればさらに、より高いレベルで実現しそうだ。



「これからも色々なことに挑戦したい」と語る奥口さん

- ▽住所：宮崎県西都市小野崎1-1-61
- ▽TEL：0983-14310445
- ▽営業時間：7時30分～18時30分
- ▽定休日：火曜日、水曜日
- ▽通勤・通学の実用車からクロスバイク、ロードバイク、MTBまでスポーツバイクも幅広く取り扱う。ブランドはブリヂストン、ジャイアントをメインに、ルックやファクター等の希少ブランドもラインナップ。またレンタサイクルもジャイアントやBESVのEバイク100台規模で、店内外に展開。地域のサイクルツーリズムを支える。

一般社団法人 自転車協会

# SBAA PLUSの“お墨付き”

(一社)自転車協会が展開するスポーツバイクを取り扱う店舗スタッフの認定資格「SBAA PLUS」。全国840名のSBAA PLUS認定者は果たして、そこにどんな価値を見出し、ユーザーの安全・安心にどう役立っているのか。今回は宮崎県西都市にある「サイクランドおくぐち」の店主、奥口一人さんに話を伺った。

# で高まる地域の信頼



SBAA PLUS 認定証



サイクランドおくぐち



店主の奥口一人さん